



日本シティズンシップ教育フォーラム

2014 年度 事業報告書

(2014.01.01～2014.12.31)

住所：兵庫県尼崎市次屋 2 丁目 2-20 ハイツアメニティ II-203 号室
電話番号：070-6506-0369 mail：info@jcef.jp web：http://jcef.jp

目次

1. 2014 年度事業のハイライト	2
2. 2014 年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキング部会	4
(2) 情報発信部会	7
(3) 人材養成部会	9
(4) その他	11
4. 会計報告	別添資料参照

設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

1. 2014 年度事業のハイライト

- (1) 「シティズンシップを育むとは？」を全体テーマに「第1回シティズンシップ教育ミーティング」を開催。日本全国から90名の方々が参加。
- (2) 「海外視察合同報告会」と「若者のボランティア活動と政治参画に関連を考える」の2つのトピックスで「J-CEF クロストーク」を3回開催。
- (3) 会報誌「J-CEF NEWS」2号から5号を発行し、年4回の定期制作へ。
- (4) 「第1回シティズンシップ教育ミーティング」全体会での議論を踏まえて、「シティズンシップ教育の社会的成果指標に関する勉強会」を実施。

2. 2014 年度事業実施体制

J-CEF では、総会に付議すべき事項や総会の議決した事項の執行に関する事項等について決議する機関

として運営委員会を設置しています。事業の推進にあたっては、運営委員会での議決に基づいて3つの部会を設置しました。各事業部に事務局スタッフを配置し、事業執行にあたっています。

■役員

【運営委員】

- 代表 小玉重夫（東京大学大学院教育学研究科教授）
 副代表 水山光春（京都教育大学教育学部教授）
 委員 伊藤 章（NPO法人国際ボランティア学生協会理事）
 岡田泰孝（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
 川中大輔（シチズンシップ共育企画代表）
 木村 充（東京大学大学院学際情報学府）
 黒崎洋介（神奈川県立湘南台高等学校教諭）
 杉浦真理（立命館宇治高等学校教諭）
 中村陽一（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）
 林 大介（模擬選挙推進ネットワーク事務局長、東洋大学社会学部助教）
 古田雄一（湘南まちいくプロジェクト、筑波大学大学院博士後期課程）
 毛受芳高（一般社団法人アスバシ教育基金代表理事）

【監事】

- 齊藤仁一朗（東北大学大学院、日本学術振興会特別研究員）
 長沼 豊（学習院大学文学部教育学科教授）

■事務局

- 事務局長 川中大輔
 会計責任者 神野有希
 事務局スタッフ 井上 栞、神野有希、野田憲太郎、林 寛人、古田雄一、松井康次、湯浅雄偉

■運営委員会開催記録

	日程	場所	議題
第4回	2014年1月13日 10:00～12:00	東洋大学/京都教育大学	入会促進の方針策定、2013年度決算および事業報告、2014年度予算および事業計画策定
第5回	2014年4月19日 14:00～16:00	立教大学/京都教育大学	クロストーク vol.2 企画実施了承願い、クロストーク担当の分担、実習生制度検討に係る研究会設置
第6回	2014年7月27日 17:55～18:15	立教大学	各部会の進捗報告

※第4回、第5回は西日本会場・東日本会場をオンラインでつないで実施しました。

3. 事業報告

(1) ネットワーキング部会

■委員

座長 中村陽一

委員 林大介、村上千里 (5月まで)、長沼豊 (7月より)、笹井宏益 (7月より)、川中大輔、古田雄一

■「第1回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、本年3月に「第1回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。

【開催概要】

○日時：2014年3月15日(土)13:00～3月16日(日)16:30

○場所：立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館・12号館

○参加者数：90名(会員20名、非会員40名、ゲスト・コーディネーター21名、ボランティア9名)

○共催：立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・社会デザイン研究所

○プログラムおよびゲスト・コーディネーター(所属は当時)

▼全体会(1)「今求められるシティズンシップとは何か？」

・ゲスト

石川治江氏(NPO法人ケア・センターやわらぎ代表理事、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授)

小城武彦氏(職業経営者、前・丸善CHIホールディングス株式会社代表取締役社長)

・コーディネーター

中村陽一氏(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授)

▼分科会

〈第一セッション〉「今求められるシティズンシップとは何か？」

・ゲスト

岩本悠氏(海士町教育委員会 高校魅力化プロデューサー)

藺部優氏・芳賀亮太氏(OECD 東北スクール参加者)

・コーディネーター

毛受芳高氏(一般社団法人アスバシ教育基金代表理事)

中村陽一氏

〈第二セッション〉「若手研究者のためのシティズンシップ教育ゼミナール」

・コーディネーター

小玉重夫氏(東京大学大学院教育学研究科教授)

水山光春氏(京都教育大学教育学部教授)

唐木清志氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授）

〈第三セッション〉「実践交流！学校で育むシティズンシップ」

・ゲスト

久保田正基氏（伊豆市立天城中学校教諭）

黒崎洋介氏（神奈川県立湘南台高等学校教諭）

・コーディネーター

岡田泰孝氏（お茶の水女子大学附属小学校教諭）

杉浦真理氏（立命館宇治高等学校教諭）

〈第四セッション〉「実践交流！地域で育むシティズンシップ」

・ゲスト

高田あい氏（岡山市立東山公民館主任）

吉田純夫氏（特定非営利活動法人市民討議会推進ネットワーク代表理事）

・コーディネーター

林大介氏（模擬選挙推進ネットワーク事務局長、東洋大学社会学部助教）

伊藤章氏（NPO 法人国際ボランティア学生協会理事）

〈第五セッション〉「シティズンシップ教育入門セミナー」

・講師 唐木清志氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授）

▼全体会(2) 総括討議

・パネリスト 中村陽一氏、杉浦真理氏、林大介氏

・コーディネーター 小玉重夫氏



▲分科会の様子



▲全体会での総括討議の様子

■J-CEF クロストーク vol.2 「海外視察合同報告会～欧米の動きから日本の磨きどころを考える～」を開催

欧米でのシティズンシップ教育やユースワーク、コミュニティ形成の実践についての視察報告により、日本での取り組みにどのように活かしていくのか、その考察を深めました。

【開催概要】

〈西日本会場〉

○日時：2014年5月31日（土）13:30～17:30

○場所：中京青少年活動センター大会議室

○参加者数：14名（定員20名）

○共催：公益財団法人京都市ユースサービス協会

〈東日本会場〉

○日時：2014年6月15日（日）13:30～17:30

○場所：東洋大学6号館4階6406教室



○参加者数：18名（定員20名）

○ゲスト：

林大介氏（東洋大学助教）

古田雄一氏（筑波大学大学院博士後期課程）

川中大輔氏（シチズンシップ共育企画代表）

▲「海外視察合同報告会」の様子

○内容：ゲスト3人からアメリカのコミュニティ・オーガナイズングやパブリックアチーブメント、フィンランドの Ruuti 等、若者の社会参画促進やそのための教育プログラムに関する視察報告がなされました。その後、日本社会での実践に向けて、参加者との意見交換が行われました。

■J-CEF クロストーク vol.3 「若者のボランティア活動と政治参画に関連を考える」を開催

大学生や若者（ユース）の社会貢献をしたいという意識は高まっている一方で、投票率は他の世代と比べて高くなく、政治参加という面では低調であると言えます。その観点から、ボランティア活動と政治参画の「接続」をテーマに議論を深めました。

【開催概要】

○日時：2014年10月22日（水）18:00～21:00

○場所：東京大学本郷キャンパス教育学部2階265号室

○参加者数：14名（定員20名）

○ゲスト：

西尾雄志氏（日本財団学生ボランティアセンター長、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター客員准教授）

福島宏希氏（United Youth 代表）

伊藤章氏（NPO 法人国際ボランティア学生協会理事）

○内容：ゲスト3人から大学生・若者のボランティア観やボランティア活動の現状などに関する示唆に富んだ話題提供がなされました。その後、道德教育や学校での様々な教育活動との結びつき、シチズンシップ教育のあり方について意見交換が行われました。

■部会会議開催報告

	日程	場所	議題
第1回	2014年5月10日 10:00～12:00	立教大学	「第1回シチズンシップ教育ミーティング」の評価、「シチズンシップ教育ミーティング」方向性の検討
第2回	2014年7月4日 19:00～21:00	立教大学	「第2回シチズンシップ教育ミーティング」のプログラム構成およびコンセプトの検討、開催概要の決定
第3回	2014年7月28日 10:00～12:00	国立教育政策研究所	「第2回シチズンシップ教育ミーティング」のプログラム構成およびコンセプトの検討
第4回	2014年8月15日 13:00～15:00	立教大学	「第2回シチズンシップ教育ミーティング」のプログラム構成および全体会・分科会等の詳細の検討

第5回	2014年9月29日 17:30～19:30	立教大学	「第2回シティズンシップ教育ミーティング」の全体会・分科会等の詳細の検討
-----	---------------------------	------	--------------------------------------

(2) 情報発信部会

■委員

座長 水山光春

委員 黒崎洋介、古田雄一、川中大輔

■「J-CEF NEWS」vol.2-vol.5を発行

シティズンシップ教育の好事例を発掘・紹介し、シティズンシップ教育を深く掘り下げる記事を中心とする会報誌「J-CEF NEWS」を発行しました。また、J-CEF 会員に向けては無料配布を行いました。

【第2号・概要】

○判型・ページ数：A4版12ページ

○発行部数：300部

○掲載記事

・リレーエッセイ 点を打つこと、繋ぐこと

／黒崎洋介

・実践事例紹介 「まちつくクラブ in 湘南」の取り組み

／名城可奈子

・書評／長沼豊

「シティズンシップの教育思想」小玉重夫著

「シチズン・リテラシー ～社会をよりよくするために私たちにできること」鈴木崇弘ほか編著

・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」／伊藤章・中村陽一



▲会報誌「J-CEF NEWS」

【第3号・概要】

○判型・ページ数：A4版12ページ

○発行部数：200部

○掲載記事

・リレーエッセイ 「私」と「社会」の関係性を紡ぐ／木村充

・実践事例紹介「未来の有権者が生の政治を身近に感じる「未成年“模擬”選挙」／林大介

・書評／西川正

「道はみんなのもの」クルーサ著 モニカ・ドペルト絵

「『遊ぶ』が勝ち ～『ホモ・ルーデンス』で、君も跳べ！～」為末大著

・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」／原田謙介・水山光春

【第4号・概要】

○判型・ページ数：A4版 12 ページ

○発行部数：200 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ わたしのシティズンシップ教育体験／神野有希
- ・実践事例紹介 自治を拓く無作為抽出による市民討議会／吉田純夫
- ・書評／古賀桃子
 - 「福祉国家へのアプローチ」大塚桂著
 - 「井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法」井上ひさし著 いわさきちひろ挿絵
- ・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」／北山夕華・若林勇太

【第5号・概要】

○判型・ページ数：A4版 16 ページ

○発行部数：200 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ 集合は、議員面会所で／宮崎一徳
- ・実践事例紹介 地域と協働する学校による地域をつくる教育／岩本悠
- ・書評／古田雄一
 - 「民主主義を学習する —教育・生涯学習・シティズンシップ」ガート・ピースタ著
 - 「地域を変える高校生たち —市民とのフォーラムからボランティア、まちづくりへ」
宮下与兵衛編，宮下与兵衛・栗又衛・波岡知朗著
- ・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」／阿部潔
- ・セミナーレポート／西尾雄志・福島宏希・伊藤章
 - J-CEF クロストーク vol.3 「若者のボランティア活動と政治参画の関連を考える」

■Webサイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイトを更新継続しています。会員同士のネットワークやノウハウ共有のプラットフォームとして活用できるよう、会員のみがログインできる「会員専用ページ」も公開しています。○URL：<http://jcef.jp>

■部会会議開催報告

	日程	場所	議題
第3回	2014年6月30日 19:00～21:00	京都教育大学 ／都内	「J-CEF NEWS」vol.4, vol.5の編集会議・執筆者検討

※本部会は電子メールによる意見交換を通じて、編集会議の一部に代えた。

(3) 人材養成部会

■委員

座長 唐木清志

委員 岡田泰孝、杉浦真理、川中大輔

■「シティズンシップ教育入門セミナー」の実施

各方面でのシティズンシップ教育の関心の高まりを受け、シティズンシップ教育の理論的な基礎理解の理解を深めるセミナー「シティズンシップ教育入門セミナー」を、第1回「シティズンシップ教育ミーティング」の分科会の1つとして、2014年3月15日に立教大学にて開催しました。

■「学校教員のためのシティズンシップ教育実践テキスト」発行準備

シティズンシップ教育に関心を寄せていたり、または既に実践に取り組んでいたりする学校教員を主な対象として、学校における多様な形でのシティズンシップ教育の事例理解と高度化推進の一助となるテキストの刊行に向けて準備を進めています。

【目次構成】(敬称略)

- はじめに 小玉 重夫 (東京大学大学院教授)
- I.シティズンシップ教育とは
 - 1 政治的リテラシーとシティズンシップ教育..... 小玉 重夫 (東京大学大学院教授)
 - 2 学校教育におけるシティズンシップ教育..... 唐木 清志 (筑波大学准教授)
 - 3 世界に広がるシティズンシップ教育..... 水山 光春 (京都教育大学教授)
 - 4 社会で展開されるシティズンシップ教育..... 川中 大輔 (シチズンシップ共育企画代表)
- II.日本におけるシティズンシップ教育の先進的な取組
 - 1 お茶の水女子大学附属小学校における取組..... 岡田 泰孝 (お茶の水女子大学附属小学校教諭)
 - 2 東京都品川区における取組..... 村尾 勝利 (品川区教育委員会指導課学校支援担当課長)
 - 3 京都府八幡市における取組..... 羽野 豪 (京都府八幡市立中央小学校教頭、シティズンシップ教育研究委員会実務担当教頭)
 - 4 神奈川県立高等学校における取組..... 黒崎 洋介 (神奈川県立湘南台高等学校教諭)
- III.学校におけるシティズンシップ教育の取組
 - 1 社会科における実践..... 梅澤 真一 (筑波大学附属小学校教諭)
 - 2 算数・数学科における実践..... 神戸 佳子 (お茶の水女子大学附属小学校副校長)
 - 3 家庭科における実践..... 石島恵美子 (茨城大学准教授)
 - 4 保健体育科における実践..... 成家 篤史 (帝京大学講師)
 - 5 道徳における実践..... 岩本 賢治 (大阪市立大学非常勤講師)
 - 6 総合的な学習の時間における実践..... 酒井 淳平 (立命館宇治中学校・高等学校教諭)
 - 7 特別活動における実践..... 高橋 和也 (学校法人自由学園副学園長)
 - 8 学校設定科目における実践..... 大前 吉史 (兵庫県立兵庫高等学校教諭)

○IV.シティズンシップ教育の授業づくり

- 1 多文化教育…………… 桐谷 正信 (埼玉大学教授)
- 2 人権教育…………… 若槻 健 (関西大学准教授)
- 3 開発教育…………… 田中 治彦 (上智大学教授/NPO 法人開発教育協会/DEAR 理事)
- 4 ESD…………… 泉 貴久 (専修大学松戸中学校・高等学校教諭)
- 5 防災教育…………… 和田 茂 (兵庫県立舞子高等学校教諭)
- 6 ボランティア学習…………… 長沼 豊 (学習院大学教授)
- 7 消費者市民教育…………… 小牧 美江 (司法書士法教育ネットワーク事務局長)
- 8 法教育…………… 杉浦 真理 (立命館宇治中学校・高等学校教諭)
- 9 模擬選挙…………… 林 大介 (東洋大学助教/模擬選挙推進ネットワーク事務局長)
- 10 マニフェスト…………… 大久保正弘 (シティズンシップ教育推進ネット代表/埼玉大学非常勤講師)
- 11 キャリア教育…………… 角野 綾子 (NPO 法人JAE 教育コーディネーター/夢みらい工房コーディネーター)

○参考資料

- おわりに…………… 唐木 清志 (筑波大学准教授)

■「実習生制度」の検討

シティズンシップ教育を担う人材の発掘・育成を目指す「実習生制度 (仮称)」の検討にあたっては、会員等との意見交換を行いながら事務局内で検討を進め、以下の三案が具体化検討に向けた議論の俎上にあげられることとなった。

(A 案)「インターンシップ形式」

全国に幅広く公募し、参加希望者の全員が一年間を通じて、事前研修 (理論と実践の最新動向に係る講義)・実地研修・事後研修 (リフレクション及び連結講義) のプログラムに参加する。実地研修では全国各地の会員有志に受入先となっただき、参加者が自分で複数の受入先を選択して、そのノウハウを現場で学ぶこととし、新しい専門性を幅広く獲得することを図る。

(B 案)「メンタリング形式」

東日本・西日本の二地域において、強化トレーニングを希望する教員や教員志望者を公募し、選考の後、指定された者について半年間、各地域担当のメンター複数名が実際の授業や模擬授業等を見学し、ケースカンファレンスを行ったり、勉強会での相談支援に取り組み、実践的なスキルアップを図る。

(C 案)「サマースクール形式」

全国に幅広く公募し、参加希望者の全員が夏期休暇期間に 1 ヶ所に集い、4~5 日間連続してシティズンシップ教育の理論と実際について講義を受けながら、模擬授業等の実習に取り組み、各現場での自己研鑽の素地形成を図る。

来年度は本制度に係る専門部会を設置し、具体化方向を決定し、プログラム設計を進めることとする。

■部会会議開催報告

	日程	場所	議題
第4回	2014年2月2日 10:00~12:00	立命館宇治高等学校 /MS&BB 池袋西武横店	テキストの企画書、執筆依頼の検討および決定、 出版社との契約状況の共有

※西日本会場・東日本会場をオンラインでつないで実施しました。

※本部会は電子メールによる意見交換を通じて、上記テキストの編集会議に代えた。

(4) その他

■「シティズンシップ教育の社会的成果指標に関する勉強会」を開催

第1回シティズンシップ教育ミーティングの全体討議において、シティズンシップ教育を進展させていく上で、学習者個人及び社会全体の両方において効果測定の必要性が指摘された。そこで、会員を対象に勉強会を開催し、この問題提起を深める場を設けた。



▲「J-CEF 勉強会」の様子

【開催概要】

- 日時：2014年7月27日（日）18:30~21:00
- 場所：立教大学マキムホール（15号館）第一・第二会議室
- 参加者数：9名（定員10名）
- 話題提供：小玉重夫氏「シティズンシップ教育の評価指標について」
- 内容：話題提供としてOECDのPISA 2015（生徒の学習到達度調査）や"Skills for Social Progress"に係る調査を巡る動きが参照され、「測定の時代」における評価を考える問題提起がなされました。危険性や限界性を認識しつつ、その必要性や意味について意見交換が行われました。

4. 会計報告

別添資料参照

以上